

平成 28 年度第 1 回大郷町総合教育会議 会議録

日時：平成 28 年 10 月 25 日（火）

午後 1 時 30 分～

場所：大郷町役場 3 階第 2 委員会室

【出席者】

（教育委員会）

大友教育長・熊谷教育委員長・武田教育委員長職務代行者・武藤教育委員・高橋教育委員・浅野教育課長

（町長部局）

赤間町長・小畑総務課長・伊藤補佐

【欠席者】なし

1. 開 会 (13:30) 小畑総務課長

2. あいさつ 赤間町長
(省略)

3. 議 題

運営規則第 3 条により議長である町長が進行する。

(1) 学力向上及び体力向上対策の推進と特別支援教育の充実について

(2) 幼稚園における 3 歳児教育の推進について

(3) 教育施設の整備・更新について

議題提案者である教育委員会（教育長）より資料（別紙参照）に基づき説明。

資料

- ・平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果（非公表資料）
- ・平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果データ
- ・第 2 期宮城県教育振興基本計画素案

議 長 3 つの議題について質疑をお願いする。

熊谷委員長 体力づくりのデータは小学校では 5 年生・中学校では 2 年生だけのデータだが、取り組みはその学年のみか。中学校では 1 年から 3 年の全学年で取り組んで欲しい。小学校では 4 年から 6 年ぐらいのデータはあったほうがよい。そうすれば、スポ少に入るのも 3 年生ぐらいからだが、4・5・6 年生ぐらいがスポ少に入って最適な年かと思うので、データの的にも 4・5・6 年生があったほうが、中学校に入っても、自分のデータの伸びや落ちたところが分かる。中学生は 3 年間やって欲しい。学力についても、小学校

は6年生の取り組みとなっているが、中学生では1・2・3年生の全国的なテスト方式でやれば成績を追える。小学生では5年生ぐらいからそのような勉強の方法を取り上げたらいいと思う。

教 育 長 このデータは小学校5年生と中学2年生に限定されているが、学校では各データは持っていると思うので、比較はできると思う。学力に関しても考査、テストで比較できるので、一番うれしいのは伸びていけばいいが、年々下がるようでは困る。必要であれば学校から取り寄せて入手することも可能。なお、校長会等を通じて見比べながら、向上するように努めるよう話したい。

武 田 代 行 学力テストが向上したり下がったりといったデータが示されたが、学力というのは努力しただけでは何ともならない、ある程度遺伝的なものも素因としてはあると考えられる。大切なこととしては、環境づくりというか、勉強する環境が整っていることが何よりも大切。勉強するという習慣づけをどのようにしてつけさせていくか。例えば今年、町長さんたちが各地域を回っての話し合いの中で、中学生の部活の道着についての話し合いも出たということで、いろんな話し合いが導き出されたと思うが、地域地域の中に行くことによって、そこで家庭環境、大郷ではたまたま核家族だけでなく、何世代かの家族がいて育てられている習慣もあると思うが、やはり勉強をやらなくてはいけないものだ、なんとか勉強していく習慣というものを、どうゆうふうにかして作ることができたら一番ではないか。ですから、漠然とした話になってしまうが、いかに子どもたちのやる気が出るかは躰でもあると思う。子どもたちに対する親の躰、家庭教育、毎回言われていることでもあるが、いかに浸透させていくかを具体的に考えていくべきと思う。地域の中で拾い出された言葉というものがあるということは、教育長さんなり町長さんなりが声掛けして、やっぱり家庭の中での勉強がいかに大切かということ、そうゆうところでも声掛けしていくことが一つなのかなと思いました。

教 育 長 町長ともいつでも話しているが、簡単にいえば家庭なんだなということでは了解している。ただ、学校でお預かりしている以上、最大の環境は教員ですので、優秀な教員を確保するということが私の使命です。優秀な教員であれば家庭にも影響を及ぼすような指導をしますので、宿題も量だけを出すのではなく、肝心なところをやってきなさいといった適正な宿題を与えたり、親の了解を取ったり学校ぐるみでそういったことをやりますので、町長さんと私が地域に行って説明・説得するのも重要ですが、まずは学校を信じてもらって、先生方を信じてもらって、そうゆうところから努力をしていくという、ノーマルなスタイルで改革していきたいと考えている。

議 長 学校の先生の資質や指導は同じだと思っているが、ただ、それぞれにくらかの差があるのかなと思っている。基本は家庭において、いかに本を見るか、習慣づけするか。以前私は、家庭において30分でもいいからテレビを消して、子どもと会話する時間を設けたらいいのではないかと

ことを提案した。今は、親子のふれあいが無いから、まずもって基本は親子の会話の時間をもって、そのような中で勉強するように持って行って、自然と本を読ませるような環境づくりが一番だと思う。30分でもいいからテレビを消して会話をする。基本は家庭が一番だと思う。

教 育 長 管内では互理町や仙南のほうですが、名取とかではノーテレビ、ノーゲームといった時間を1日に1時間とか3時間とか作って、その時間はテレビを見せない、ゲームもさせない、親子で会話する、親子で勉強する、遊ぶ、そういうことをやっているところもある。本当に必要だとなれば、そういった取り組みもできます。

武 田 代 行 やっぱり学校の先生方の指導があつての学力だとは思いますが、勉強する習慣がついていないということは、子どもたちのやる気とかに結びついていく。そして先ほど出ましたが、貧困というか子どもたちの中での貧困、教育に対してももちろんそのままなんです、家庭という言葉がいいのか分かりませんが、という家庭に育ったお子さんはどうしても一人の時間が多くなると思う。ご飯を食べるにしても、学校の出来事を話す時間にしても一人の時間が多くなっていく。お金が、親に余裕が無ければ我慢もしなければならぬ。我慢するということがいいことなのかもしれないが、教育も全部みんなと同じように、スポーツやそういったことも、スポーツ少年活動にしても出来なくなってくる。いろんな意味で家庭における状態が子どもたちを変えていくなということがすごく感じ取れる。基本は学校なんです、そこの中での家庭の中というものが。じゃあどうすればいいかとなった時に、漠然とした答えしか出来ない、さしあたっては町政懇談会などで話してもらえると、クッションになると思う。

高 橋 委 員 幼稚園における3歳児教育の推進について、具体的な案は出ているのでしょうか。

教 育 課 長 教育委員会で示せるものはありませんが、9月の定例議会で町長が全議員の前で表明したのは、29年度中に基本計画・実施設計を取りまとめて、文科省の補助事業を取りつけて、30年度に建設、31年4月に3歳児保育の実現をということを表明しました。それに基づいて、事務方で町長も含めて何度か協議させていただいて、まずはそういったスケジュールで施設の面的な整備、そして教職員の人材の確保を進めていこうというのみで、ペーパーでお示しするようなものは揃っていません。話題として平面図をつけさせていただいた。ブルーのところは保育園で使っているエリアで、職員室は共用ですが、黄色のエリアが幼稚園で使っているエリアで、いずれも満室状態という状況で、この間町長、教育長、副町長含めて現地視察した限りでは、せっかくの園庭ではありますけれど、他から比べれば十二分に広すぎるほどの園庭でもありますので、この園庭を使って、設計のプロの目や土質調査なども必要になってくると思うが、ここに必要教室数を増設して3歳児教育を実現しようというのが事務方の考えです。

高 橋 委 員 3歳児教育は実現していただきたいですが、園庭の部分に3歳児教育分

の教室を出すと思うが、いつも幼稚園を訪問させていただいて先生方の話を聞いているときに毎年必ず話題に上るのが、遊戯室の使い方が不便だということです。曜日によって幼稚園が使える日と保育園が使える日が分けられているので、前日の準備もできないし、その日に準備してまた次に同じことをしようとしても片づけなければいけない。それを3歳児の分を増やすことによって、なお遊戯室の使い方が込み合ってくるのではないかと思う。先生方は調整が大変になってくると思う。

議 長 町では庁舎も老朽化し、高齢化も進んで、エレベーターも何もなく、所得の申告もどうしたらいいか検討中で、更に幼稚園、保育所、これを今回この場所に増設するというので、園庭に建てるが、確かに遊戯室が狭いというのは重々分かっているが、しからば新しい土地を求めてやるとなると、体力的にも時間的にも様々なことが大変なので、まずもって3歳児保育実施のためには、あるものを利用したほうがよいということで、今回31年度に開始できるよう体制をとるということで、国に申請しながら内部のほうで進めている。完璧な施設はないわけですが、子どもたちの指導に当たる先生方の資質がよければ、子どもたちもすくすく育つと思う。遊戯室は狭いですが、広い園庭を利用して3歳児保育を実施する予定で内部で検討しています。新しい土地を求めて幼稚園か保育所のどちらかが移動することになれば、完璧な子育て支援施設になるが、中途半端になってしまうので、しっかりとした今後の町の計画の中で進めていかなければまずいということで、今回この場所に不足分の教室を増設するというので進めています。

武田代行 其中で、3歳児入園と、1年間は家で遊ばせておいて私の家は2年でもいいわという親ごさんが出たときは、それはそれでOKなんですか。

議 長 最初はそうゆうのもあると思うが、ところが、皆入ってくると思う。3月末頃生まれて、まるきり1年遅れで入ってくる子どももいる。うちのは幼いから半年くらい遅れて入れたい子も出てくると思う。それはしょうがない。おしめをしている子どもが半分くらいいると思う。議会にも教育長なりの答弁で、おしめをしている子どももいるから3歳児教育は難しいという答弁をしていたが、時代の流れや経済状況の中で、3歳児からの幼児教育を受けたいというお母さん方がいっぱい出てきたので、今回実施することになった。確かに大変だと思う。おしめをしている子どもも、しない子どももいる。

武田代行 一足早く集団生活に慣れるということを考えれば、とてもいいことだと思う。

議 長 このような計画で進めたいと思っているので、国の補助の枠に入ればこのとおり進めたい。

教 育 長 嬉しい悲鳴が上がるくらい、教室が足りないくらい子どもが増えれば最高です。

高橋委員 今でいう、すみれ組の4歳、5歳児さんは幼稚園にならない理由は何で

しょうか。

教 育 長 保育園に入った以上保育園を卒園させたいという思いと、保育時間や預りの時間に差はなくなってきたが、保育園に対する0歳からお世話になってきたという義理的なものではないかと思う。教育と保育の違いは全くない。保育園でも幼稚園のやり方を先生方同志が学びあっているのですが、そんなに差はないんですが、片や保育、片や教育という意味合いで見ると、幼稚園の教育を受けさせたいという親が増えていることは間違いない。すみれの部分は、本来は幼稚園の部屋だったそうです。保育園の方で子どもが増えて、待機児童も増えたので、いちごとさくらんぼのところを増設した。これでもまだ待機が何名かいるみたいだ。

熊谷委員長 預り保育室をすみれ室と3歳児2部屋使って、3歳児チューリップが空くということにならないか。簡単に考えれば。

議 長 うまくいけばいいけど。我々も単純に考えているが。

教 育 長 こちらも義務教育でないので、親の選択肢を保証しなければならないので難しい。ただやる以上は、本来であれば3歳になったら、全部幼稚園に切り替えてくださいと言ったほうが良いと思うが、義務教育ではないだけに強く言えない。

武 田 代 行 無償化になればいいんでしょうけど。国で無償化にしてくれれば。

熊谷委員長 そうすると預り保育が多分増えてくると思うので、預り保育は遊戯室ということになるのでは。

高 橋 委 員 預り保育は違う教室を使わなければならないですよ。普段使っている教室とは。

教 育 長 預りをうさぎ組のところで使えるのではないかという話が出るが、預り保育には、柔らかい畳を敷いて、うさぎの教室にも畳を敷いてしまうと椅子と机が置けなくなる。預りも専用の保育室が必要となる。

武 藤 委 員 せっかく増設するのだから、もっと先の10年後20年後まで見据えてやっっていかないと増設増設となっていく。もっと頑張っって広めに作ってもらえばいいと思う。評判がよければ大郷に行きたい人が入ってくる。

教 育 長 確かに大郷で3歳児からやるとなると、非常にインパクトの強い政策になる。定住化構想とも合いますし、働くお母さんや働く女性の社会進出など国がやっていることを保証することにもつながる。

武 藤 委 員 学力向上と体力向上についてだが、先生と子どもたちという括りの中で考えると、家庭までは繋がらない部分がある。もっと親の勉強会などを積極的に取り組むことは、将来的にこうゆうことに繋がります、あるいは悪いことをすればこうゆうことに繋がりますというのを、小さいうちから子どもだけでなく親も一緒に勉強する機会を増やしていったらいい。いじめについてもなんでも、子どもだけの対象ではなく、親や家庭もみんながそうゆう認識を持つような環境づくりですね。学校だけでなく、町の姿勢として町全体で考えようとすれば、もっとこちらで思うようなことが伝わってくるのではないかと。

議 長 以前高校三年生を対象とした模擬議会を開催して、議員としての視点でどのように質問するのかといったことで始まったが、今回は女性議会を開催して、PTAの方々にも呼びかけて、どのような方々が出てくるのか興味をもっていたが、PTAの若いおかあさん方は出てこなかった。子どもの教育に対する町の取り組み方への質問が出てくるかと思ったが、誰もいなかった。

教 育 長 小学校も中学校もですが、今年はインターネットの危険性について、PTAを対象とした研修会を開催しています。ですからテーマを絞れば、そういう研修をどなたか適当な先生をお呼びして、家庭教育や家庭での勉強がいかに大切かといった勉強会や研修会をやることは可能だ。武田委員との話とも合うので、今後校長と相談してみます。

武 田 代 行 子どもたちは褒められるのが大好きだから、褒めながら。

武 藤 委 員 たまたまテレビでもよくやるけれども、有名な人が来て授業するといったことも子どもたちにインパクトを与えると思う。

教 育 長 これは県のインターンシップとも合致しますのでいいことですね。

武 藤 委 員 施設の整備ですが、町長もおっしゃったように、公民館や役場が点在していて、なおかつ老朽化が文化会館をはじめ進んでいる。いつかは直さなくてはならない。一つずつやるのか、それとも減らしていくのか。そろそろ論議しなければ後々大変になる。時代から置いていかれそうな気がする。

議 長 宮城県内で庁舎にエレベーターが無いのは、大郷と塩竈市ぐらいだ。話はそれるが、例えば農業者年金関係で役場に来る方々は70歳を超えている。そうなるとうがってきて苦情を言う。だから案内所ではどちらに来たかを聞いて、農業委員会なら委員会の職員が下りてきて対応するよう指導している。それでも我々をはじめ、健康なふりをして階段を上がって息を切らしている。更に所得の申告では3階まで行って、待たせられて、所得を納めると尚更だ。申告の場合は解消に向けて課長方に揉ませている。また課長方をお願いする時期が来ると思うが、このままではうまくない。どこか大きな場所を設けて、町の核となる役場を移動しなければならない。私の代で基金だけでも創設させなければならないかと。年間に5,000万円積み上げれば10年で5億になる。土地といくらかの借金で建てられるのではないかと。いかに町民の人たちが利用しやすいかだ。

熊谷委員長 単純な質問ですが、25年度から今年度まで、学力についてですが、だんだん点数が低くなってきている。全国的にもそうだが。問題的にも難しくなっているのか。

教 育 長 簡単には解けない問題に、年々難しくしているとのことでした。全国でのレベル争いが熾烈になってきて、過去問といって去年、一昨年の問題を子どもたちにやらせている。このテストは5月だが、3月と4月に過去問をやらせて、練習させて、これに臨ませている。結果が低ければ低いほど知事さんや市長さんが怒りだす。そのような弊害を取り除こうということ

で問題を過去問にとらわれない問題を作っているの、問題づくりに苦労しているとのこと。県でも今まで県独自の学力テストがあったが、本年度をもって来年度からはやめるという話です。これからは比較する場合は文部科学省のものしか出てこない。議会でもお答えしているが、学力テストの結果だけで、果たして人間全体の良さ悪さを判断するのはいかなものか。例えば学力が高い県であっても、自殺率が高かったり、いじめに対する認知度が低かったりしている。決して学力だけが人間の力を測るものではない。

武田代行 特別支援教育の推進についてですが、この間も小学校の学芸会で郷の子の子どもたちが一生懸命楽しそうに先生方の指導でやっていました。現在は、支援の方々も充足されているような状況だが、学校の先生方と保護者の方との間の問題は起きていないか。

教育長 子ども同士や保護者同士でのトラブルというのは起きていない。学芸会を見ていただいたとおり、特別支援学級に対してやさしい眼差しで見られている。来年は人数が減ったり増えたりする。中学校では来年は知的で2年生1名で、情緒はいなくなる。そこに教員補助者を3名つけるのはもったいない。そこを1名か2名にして、1名は小学校に回したい。というのは、小学校で情緒が1名増える。その他にも10名くらいになる。8名で1クラスになるので、2クラスになる可能性がある。よって情緒学級の数が多くなるので、その分中学校の教員補助者を回してもらおうと、目の行き届いた教育ができる。

武田代行 小学校から中学校に上がる時の連携はすぐ動ける状態でしょうか。

教育長 知的なものについては、ある程度の向上が見られれば、その結果を親に知らせますし、親が希望しなければ普通教室で勉強することができる。親が承諾しなければ絶対できない。普通学級に在籍しながら、例えば落ち込んでいる数学や英語や国語というものについては、個別指導や2、3人集めて授業したりもしている。そういう時にも教員補助者はとても役に立っている。言いたいことは、一人ひとりに目の行き届いた教育をして、どんなお子さんであっても学力を保証してあげたい。

議長 このほかありませんか。

全員 なし。

議長 以上で閉会いたします。

4. その他
なし

5. 閉会 (15:10)

大郷小学校

体力

小学校 5年男子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	532,406	16.45	3.72	50.0	530,788	19.58	5.87	50.0	530,507	33.05	8.09	50.0	529,095	41.60	7.88	50.0
宮城県	9,795	16.49	3.64	50.1	9,776	18.99	5.89	49.0	9,788	33.28	7.81	50.3	9,781	41.21	7.51	49.5
市区町村	27	15.70	3.79	48.0	29	17.52	6.03	46.5	27	36.63	11.05	54.4	30	41.47	8.50	49.8

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	526,405	51.64	20.92	50.0	528,911	9.38	0.96	50.0	529,007	151.24	21.43	50.0
宮城県	9,747	48.08	19.73	48.3	9,755	9.53	0.97	48.4	9,759	147.27	21.89	48.1
市区町村	29	49.31	20.42	48.9	28	9.48	0.92	49.0	26	156.19	17.54	52.3

小学校 5年男子	ソフトボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	528,705	22.52	7.98	50.0	504,388	53.80	8.93	50.0	504,388	11.1%	24.9%	34.1%	21.0%	8.9%
宮城県	9,754	23.04	8.05	50.7	9,468	52.75	8.99	48.8	9,468	8.9%	22.2%	35.0%	22.8%	11.0%
市区町村	29	23.66	6.55	51.4	24	54.58	7.64	50.9	24	8.3%	33.3%	29.2%	25.0%	4.2%

小学校 5年女子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	511,172	16.05	3.74	50.0	509,898	18.42	5.25	50.0	509,890	37.44	8.24	50.0	508,440	39.55	7.10	50.0
宮城県	9,397	16.23	3.67	50.5	9,367	18.09	5.13	49.4	9,372	37.49	7.88	50.1	9,368	39.51	6.55	49.9
市区町村	33	13.94	4.16	44.4	33	17.70	4.32	48.6	31	41.81	7.41	55.3	33	42.70	7.57	54.4

小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	505,719	40.69	16.27	50.0	507,578	9.62	0.82	50.0	508,150	144.77	20.40	50.0
宮城県	9,329	38.37	14.73	48.6	9,299	9.72	0.85	48.8	9,343	141.08	20.43	48.2
市区町村	31	45.13	14.66	52.7	31	9.51	0.62	51.3	31	150.55	16.80	52.8

小学校 5年女子	ソフトボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	508,093	13.77	4.76	50.0	486,383	55.18	8.52	50.0	486,383	14.1%	26.5%	34.5%	19.0%	5.8%
宮城県	9,309	13.81	4.70	50.1	9,032	54.40	8.37	49.1	9,032	11.5%	25.0%	36.3%	20.6%	6.6%
市区町村	33	14.58	3.75	51.7	26	56.31	7.21	51.3	26	15.4%	19.2%	46.2%	19.2%	0.0%

体格

小学校 5年男子	身長(cm)				体重(kg)				肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)						
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	正常	やせ	高度やせ
全国	533,861	138.83	6.11	50.0	533,699	33.94	7.16	50.0	531,901	0.9%	3.9%	4.9%	87.6%	2.6%	0.1%
宮城県	9,809	139.45	6.27	51.0	9,797	35.34	8.04	52.0	9,765	1.5%	5.6%	6.9%	83.9%	2.0%	0.0%
市区町村	30	140.23	7.81	52.3	30	38.88	12.56	56.9	30	6.7%	13.3%	6.7%	73.3%	0.0%	0.0%

小学校 5年女子	身長(cm)				体重(kg)				肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)						
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	正常	やせ	高度やせ
全国	512,467	140.01	6.76	50.0	512,278	33.83	6.82	50.0	510,807	0.5%	2.7%	4.2%	89.8%	2.7%	0.1%
宮城県	9,393	140.54	6.76	50.8	9,382	34.95	7.38	51.6	9,362	0.8%	4.0%	5.5%	87.3%	2.3%	0.0%
市区町村	32	137.61	5.87	46.4	33	33.72	8.69	49.8	32	0.0%	9.4%	3.1%	84.4%	3.1%	0.0%

大郷中学校

体力

中学校 2年男子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	507,630	28.93	7.09	50.0	504,138	27.43	6.08	50.0	504,414	43.08	10.41	50.0	501,112	51.62	7.92	50.0
宮城県	9,493	28.99	6.93	50.1	9,412	27.55	5.83	50.2	9,421	43.31	10.02	50.2	9,336	51.57	7.49	49.9
市区町村	36	32.14	7.54	54.5	36	25.42	6.54	46.7	36	44.83	10.35	51.7	36	46.42	9.77	43.4

中学校 2年男子	持久走(秒)				20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	257,426	392.63	63.97	50.0	320,721	85.56	24.33	50.0	497,739	8.01	0.85	50.0	499,866	194.05	27.87	50.0
宮城県	3,629	401.95	68.71	48.5	8,698	83.31	23.79	49.1	9,231	8.02	0.86	49.9	9,326	192.18	28.33	49.3
市区町村	32	435.03	63.24	43.4	33	72.24	17.90	44.5	36	8.17	0.90	48.1	33	198.00	31.84	51.4

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	499,097	20.65	5.58	50.0	463,196	41.89	10.02	50.0	463,196	7.3%	25.7%	38.1%	22.2%	6.7%
宮城県	9,318	19.85	5.39	48.6	8,494	41.66	9.94	49.8	8,494	6.5%	25.5%	39.1%	21.7%	7.2%
市区町村	36	19.53	4.98	48.0	32	39.63	9.23	47.7	32	0.0%	18.8%	53.1%	18.8%	9.4%

中学校 2年女子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	484,192	23.68	4.57	50.0	481,550	23.26	5.75	50.0	482,784	45.53	9.80	50.0	478,490	46.09	6.64	50.0
宮城県	9,180	23.56	4.44	49.7	9,127	23.43	5.37	50.3	9,147	45.08	9.71	49.5	9,009	45.93	6.22	49.8
市区町村	31	24.42	4.15	51.6	32	23.09	5.78	49.7	32	45.28	8.13	49.7	32	45.06	5.36	48.4

中学校 2年女子	持久走(秒)				20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	242,271	290.03	44.45	50.0	304,742	58.06	20.19	50.0	474,271	8.84	0.80	50.0	477,959	167.28	24.65	50.0
宮城県	3,361	297.61	44.16	48.3	8,291	56.05	18.91	49.0	8,875	8.90	0.80	49.3	9,006	164.76	25.01	49.0
市区町村	29	326.07	55.10	41.9	28	47.29	18.72	44.7	32	9.17	0.65	45.9	32	169.00	18.87	50.7

中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	477,944	12.83	4.08	50.0	443,367	49.08	10.95	50.0	443,367	27.3%	32.3%	27.0%	11.3%	2.1%
宮城県	9,008	12.13	3.78	48.3	8,137	48.24	10.56	49.2	8,137	23.4%	33.4%	29.1%	12.1%	2.0%
市区町村	28	11.96	2.78	47.9	27	45.93	9.19	47.1	27	14.8%	29.6%	44.4%	7.4%	3.7%

体格

中学校 2年男子	身長(cm)				体重(kg)				肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)						
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	正常	やせ	高度やせ
全国	503,995	159.73	7.69	50.0	501,824	48.47	9.51	50.0	499,502	1.1%	2.8%	3.6%	90.2%	2.2%	0.1%
宮城県	9,456	160.48	7.51	51.0	9,379	49.93	9.93	51.5	9,352	1.6%	3.6%	4.6%	88.1%	2.0%	0.1%
市区町村	36	162.20	6.95	53.2	36	52.96	10.60	54.7	36	0.0%	8.3%	8.3%	83.3%	0.0%	0.0%

中学校 2年女子	身長(cm)				体重(kg)				肥満傾向児・痩身傾向児の出現率(%)						
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	高度肥満	中等度肥満	軽度肥満	正常	やせ	高度やせ
全国	482,035	154.83	5.36	50.0	473,924	46.75	7.32	50.0	472,246	0.6%	2.2%	3.9%	89.5%	3.7%	0.1%
宮城県	9,135	154.91	5.19	50.1	8,953	47.92	7.61	51.6	8,930	0.9%	3.3%	5.1%	88.1%	2.6%	0.1%
市区町村	32	154.98	4.74	50.3	32	48.57	8.41	52.5	32	0.0%	6.3%	0.0%	93.8%	0.0%	0.0%

第2期宮城県教育振興基本計画素案 体系

資料1-1

※ 網かけ部分は、第1期計画からの大きな変更箇所です。

基本計画とは

- ・「教育」に関する総合的な計画
- ・教育基本法に基づく計画
- ・策定主体は、県及び県教育委員会
- ・現状・課題を踏まえて策定
- ・10年後の目指す姿と、その実現に向けての取組(H29年度～H38年度)

現状・課題

- 東日本大震災、進む少子化
- △学力、体力・運動能力
- △いじめ、不登校
- 基本的な生活習慣
- 高校生の進学、就職

目指す姿

学校・家庭・地域の強い絆のもとで、よりよい未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子どもが育っています。
そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、潤いのある文化を守り育む地域社会が形成されています。

計画の推進

- ・関係機関、関係団体等との連携
- ・県民総がかりによる教育施策の推進

「目指す姿」の実現に向けて具体的に取り組む5つの「目標」

目標1
自他の命を大切に、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。

目標2
夢の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

目標3
ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。

目標4
学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。

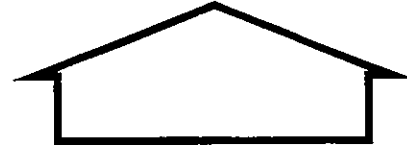
目標5
生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

「目標」の達成のために具体的に講じていく10の「基本方向」

<p>基本方向1 豊かな人間性と社会性の育成 p7</p> <p>(1) 志教育の推進 ・発達段階に応じた確かな「心」の成長(元気、やる気、夢、感動、他人や社会に貢献しようとする心)</p> <p>(2) 思いやりの心、豊かな感性豊かな子どもの育成 ・命を大切にする等道徳教育の充実、コミュニケーション能力の育成</p> <p>(3) いじめ・不登校等への対応、心のケアの充実 ・行きたくなる学校づくり(分かる授業、より良い人間関係づくり) ・チームによる未然防止、早期発見、早期対応</p>	<p>基本方向3 確かな学力の育成 p11</p> <p>(1) 基礎的な学力の定着と活用する力の伸長 ・基本的な生活習慣、学習習慣の定着 ・習熟度別授業、チーム・ティーチング ・アクティブ・ラーニング</p> <p>(2) 国際理解を育む教育の推進</p> <p>(3) 時代の要請に応えた教育の推進 ・ICT教育、環境教育、シチズンシップ教育</p>	<p>基本方向6 郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成 p16</p> <p>(1) 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成 ・自分が暮らす地域への誇りや愛着の形成 ・日本遺産に代表される宮城の魅力あふれる様々な文化財の活用</p> <p>(2) 宮城の将来を担う人づくり ・地域産業の発展を支える専門的職業人の育成(ものづくり産業等) ・起業教育、職場見学、インターンシップ、大学訪問等</p>	<p>基本方向8 安心して学べる教育環境づくり p19</p> <p>(1) 教員の資質能力の総合的な向上 ・教員研修、教職員の健康管理対策</p> <p>(2) 学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実 ・子どもの貧困対策(学校を窓口とした福祉部門との連携)</p> <p>(3) 開かれた魅力ある学校づくりの推進 ・少子化に対応した県立学校の再編</p> <p>(4) 学校施設・設備の整備充実 ・学校施設の耐震化 ・老朽化した校舎等の計画的な整備</p> <p>(5) 私学教育の振興</p>	<p>基本方向10 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進 p24</p> <p>(1) いつでも誰でも学ぶことができる環境の充実 ・みやぎ県民大学</p> <p>(2) 多様な学びによる地域づくり ・地域の教育資源である人材の発掘、地域づくり活動のリーダー育成</p> <p>(3) 文化芸術活動の推進 ・文化芸術に親しむ機会、体験活動の充実</p> <p>(4) 文化財の保護と活用 ・文化財の魅力を引き出し、国内外へ発信</p> <p>(5) スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築 ・総合型地域スポーツクラブの支援 ・県有スポーツ施設の整備 ・障害者スポーツの普及・強化</p> <p>(6) 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進 ・プロスポーツの更なる定着促進 ・ジュニアアスリートの発掘、育成</p>
<p>基本方向2 健やかな体の育成 p9</p> <p>(1) 健康な体づくりと体力・運動能力の向上 ・学校体育の充実、体を動かす楽しさを感じる取組 ・外部人材の活用による運動部活動の体制整備</p> <p>(2) 食育の推進 ・宮城県の食材や伝統的な食文化の活用 ・学校給食の充実 ・地域の生産者との交流(農業体験等)</p> <p>(3) 心身の健康を保つ学校保健の充実 ・家庭、地域の関係機関との連携</p>	<p>基本方向4 幼児教育の充実 p13</p> <p>(1) 幼児期における「学ぶ土台づくり」 ・親子間の愛着形成、基本的な生活習慣、豊かな体験活動</p> <p>(2) 幼児教育の充実のための環境づくり ・幼保小連携強化、研修の充実</p> <p>(3) 幼児教育の推進に向けた体制づくり ・幼児教育から高校教育まで一貫して支える体制</p>	<p>基本方向7 命を守る力と共に支え合う心の育成 p18</p> <p>(1) 系統的な防災教育の推進 ・防災教育副読本、震災遺構の活用 ・地域との連携による先進的な防災教育(多賀城高校災害科学科)</p> <p>(2) 地域と連携した防災体制の確立 ・学校防災マニュアルの見直し、地域との合同の避難(防災)訓練の実施 ・県立学校の避難所利用</p>	<p>基本方向9 家庭・地域・学校が連携・協働して子どもを育てる環境づくり p22</p> <p>(1) 家庭の教育力を支える環境づくり ・親としての「学び」「育ち」の支援 ・子育てサポーター等の人材養成 ・子どもの基本的な生活習慣の確立(ルルブル運動)</p> <p>(2) 地域と学校の新たな連携・協働を推進する仕組みづくり ・地域学校協働本部、コミュニティスクール</p> <p>(3) 子どもたちが安全で安心できる環境づくり ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室</p>	

第2期宮城県教育振興基本計画素案 イメージ図

学校・家庭・地域の強い絆のもとで、よりよい未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子どもが育っています。
そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、潤いのある文化を守り育む地域社会が形成されています。



〔子どもに関わる取組〕

社会を生き抜く人づくり 【学ぶ力】

目標2 夢の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

- 基本方向3 確かな学力の育成
- 基本方向4 幼児教育の充実
- 基本方向5 特別なニーズに対応したきめ細かな教育の推進

心身ともに健やかな人づくり 【心と体】

目標1 自他の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。

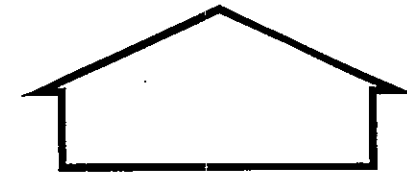
- 基本方向1 豊かな人間性と社会性の育成
- 基本方向2 健やかな体の育成

「志教育」を継続・発展させ、
子どもに関わる取組の共通の理念に

宮城の将来を担う人づくり 【復興・郷土愛】

目標3 ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。

- 基本方向6 郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成
- 基本方向7 命を守る力と共に支え合う心の育成



〔子どもに関わる取組を支える基盤〕

県民総ぐるみで支えるみやぎの教育 【家庭・地域・学校の連携・協働】

目標4 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。

- 基本方向8 安心して学べる教育環境づくり
- 基本方向9 家庭・地域・学校が連携・協働して子どもを育てる環境づくり

いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも 【生涯学習・生涯スポーツ】

目標5 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

- 基本方向10 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

